

農地を守る

農地・水・環境保全向上対策事業の取り組み

自分たちの住む集落を守るため、農地を含めた環境を良くする活動が、農地・水・環境の事業をきっかけに各地で始まっています。今回は、員弁町の「大泉の地域環境を守る会」の活動を紹介します。



まっすぐ植えられたかな



とても暑い中での作業でした



大泉の地域環境を守る会(大泉地区)

しめ縄づくり

正月に飾るしめ縄づくりを子ども会、老人会とともに地域みんなで取り組みました。5月の田植えでは、初めて田んぼに入る子どもも多く、老人会の指導のもと和気あいの雰囲気の中、手で苗を植えました。8月上旬には穂が出る前に稲刈りを行い、他の地区より一足早い稲刈り体験をしました。11月にはいよいよしめ縄づくりです。刈り取った後乾かしてあったわらを編んで立派なしめ縄に。老人会のみなさんが手本を見せながら子どもたちに教えていました。伝統的な農業を伝え、老人会と子ども会の世代を越えた交流もでき、貴重な体験してもらったと思います。



縄を編むのが難しいなあ



花壇づくり

7月と10月には、老人会で花壇づくりを行いました。地区のみんなが集まる場所や、よく通る道路の脇に花を植え、地域環境を良くし非農家や子どもたちにも地域を理解してもらうために、きれいな花が植えられました。



世代を越えた交流ができた「しめ縄づくり」をはじめ、農業に関わるいろいろな活動をしてきました。各組織でできることを分担し、農業施設は農家が主となって管理し、地域環境は老人会や、子ども会に活動してもらいました。今後も色々な活動や体験を通じ、地域のことを分かってもらえる活動を計画していきたいと思います。

問 藤原庁舎 農村整備課 T 46-6304 F 46-6319

編集後記

コカ・コーラ環境教育賞に選ばれた員弁中学校選択理科では「京都議定書を応援しよう!」というテーマで地球温暖化防止のための教育をしているそうです。昨年度の「緑のカーテンを広めよう!」は、教室の窓側を蔓性の植物で覆う緑のカーテンの実証実験をしたところ、夏の晴れた日に直射日光の影響を受けない教室中央部は、緑のカーテンのある教室と隣のカーテンのない教室とでは約3分の1の違いが確かめられたそうです。緑のカーテンを設置すれば快適さを失わずに電気代が節約できるだけでなく、二酸化炭素を減らすことになります。私たちにもできそうな緑のカーテン。ぜひ来年は試してみたいなあと思いました。

いなべいきいきマイタウン

員弁中学 エコクラブ コカ・コーラ環境教育賞



緑のカーテンには、キュウリやゴーヤがたわわに実り、昨年はその売上金を「三重県緑化推進協会の緑の募金(植林活動)」に寄付しました

「第15回コカ・コーラ環境教育賞」(コカ・コーラ教育・環境財団主催、読売新聞社協力、環境省後援)の主催者賞に、「こどもエコクラブ 員弁中学校選択理科」が選ばれました。この授業の担当である出口教諭は、「学校教育は地球温暖化防止活動を推進していくための大きな力になると考えています。例えば、学校に緑のカーテンを設置することで教職員や生徒が持続可能な考え方を身につける。さらに保護者や地域の人たちを巻き込むことで家庭やオフィスにも広めていくこともその1つと考えています」と、話します。この賞をきっかけに少しでも多くの方に環境について考えてもらえたらと思います。

情報提供：広報秘書課



生活情報「まいめる」QRコード



モバイルサイトQRコード



いなべ市ホームページ(携帯電話用)QRコード

発行 / 〒511-0293 いなべ市員弁町笠田新田111番地 T 0594-74-5820 F 0594-74-5821
編集 / 企画部 広報秘書課 <http://www.city.inabe.mie.jp/>
平成20年9月1日発行 Vol.58